

第二回運営推進会議

地域密着型通所介護 かんきち堂デイサービスセンター

1. 日 時 平成 29 年 4 月 26 日（水） 午後 5 時 15 分～18 時

2. 場 所 かんきち堂デイサービスセンター ホール

3. 出席者

所属	氏名	所属	氏名
泉町区長		かんきち堂代表取締役	
知見を有する者		かんきち堂デイ管理者	
村上市役所		かんきち堂デイ介護士	
村上市役所			

4. 議 題
- ①事業所の運営方針や特色
 - ②運営状況（平均利用者数、稼働率、空き状況）
 - ③研修その他従業員の資質向上のための取り組みの状況
 - ④避難訓練の実施状況
 - ⑤苦情・事故・ひやりはっと事例及びその対応状況や再発防止策など
 - ⑥行事の実施状況
 - ⑦今後の取り組み
 - ⑧その他
 - ⑨質疑応答

① かんきち堂の理念に基づきサービスを提供

特色として、少人数ならではのきめ細かいサービスの提供。また、家庭的な雰囲気を心がけサービス提供している。

入浴では炭酸ガス装置を設置。人工炭酸泉での入浴を提供しているが、とても好評をいただいている。

【かんきち堂の理念】

- 1. 思いやりの心と優しさを忘れず、敬愛の念を持って接します。
- 1. 職員は、質の高いサービスが提供できるよう日々努力します。
- 1. 地域に密着したサービスを迅速に提供します。
- 1. 仕事をさせていただくことに心から感謝致します。

② 運営状況（9月～3月）

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数	342名	357名	309名	340名	295名	269名	309名	317名
稼働率	79%	79%	71%	76%	73%	66%	68%	73%
平均利用者	11.7名	11.9名	10.6名	11.3名	10.9名	9.9名	10.3名	11名

介護度

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	1	3	14	9	7	4	0

地区別利用者数

	村上地区	朝日地区	神林地区	その他	合計
利用者数	27	9	1	1	38

男女比

男性	女性
4	34

空き状況（平成29年3月31日現在）

	月	火	水	木	金	土	日
空き	2	3	4	0	1	2	5

- ③ 研修状況： 10月 感染症予防・対応に関する研修
 11月 苦情処理研修
 12月 介護技術研修
 1月 倫理及び法令遵守に関する研修
 2月 接遇マナー・プライバシー保護規定
 3月 事故の発生予防又はその再発防止に関する研修

④ 避難訓練：10/12 避難訓練実施

- ・消防署員へ依頼し行う予定であったが日程調整がうまくできず、次回行うこととした。
- ・現在工事中であり、非常口を新たに設ける為、消防署員への依頼は秋に依頼する。
- ・次回 4/28 火災を想定し実施予定

⑤ 苦情・事故・ひやりはっと事例： 苦情0件、ひやりはっと3件、事故4件
 事故・ひやりはっと集計（9月～3月）

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひやりはっと	0	1	0	2	0	0	0	3
事故件数	0	1	0	0	0	1	2	4

	午前	午後	送迎時	入浴時	昼食時	午睡時	レク・体操	トイレ
ひやりはっと	1	2	2	0	0	0	0	1
事故	1	3	1	0	1	1	1	0

・事故事例

○送迎時：・迎え時に自宅廊下にて転倒。急いで歩行器を使用しなかった。デイスタッフへ引き継ぐ前の転倒事故。

外傷なし

→歩行器を使用するよう、急がないでと声掛けを行っていく。

○昼食時：・昼食摂取、口腔ケア後午睡場所（簡易ベッド）まで移動の際、簡易ベッド脚に躓きバランスを崩し、両手を床に着く。

大きな怪我にはつながらなかったが、左手内出血あり。痛み訴えなし。

→午睡時、歩行器や椅子等歩行の導線が確保できるようずらしておく。

○午睡時：・ベッドへ移乗後、水平移動する際に動く直前に利用者様が手すりにつかまってしまい、左手に表皮剥離発生。

→体調に合わせ、移乗は二人介助で行う。水平移動の際は残存機能活用し自身の力で移動していただく。体調に応じ、困難な場合は手すりを外し介助する。

○レク時：・レク中静養室にて休まれていた方がベッドより転落。認知症の方。

ベッドより滑り落ちる様に床に落ちた。

外傷等なくその後の経過も問題なし。

→不穏が強く、体動が激しい時は常に見守りできるようスタッフは見守り・付き添いを徹底する

⑥ 活動状況：

・9月26日、27日、28日 敬老会。5名の方が米寿の祝いを受けました。

・10月13日～10月19日 運動会

・11月 天気の良い日に紅葉がりドライブへ。

・12月 クリスマス会

・2月 節分

その他 毎月誕生会開催。踊りボランティアや歌のボランティアへ来所いただいた。

⑦ 今後の取り組み

・4月 避難訓練実施予定

花見会 天気の良い日に外出行事実施

デイ増築工事施工開始。

・5月 ドライブ、外出行事

・6月 増築工事終了、定員18名に。

・7月 村上大祭見学

・8月 獅子舞見学

・9月 敬老会開催

⑧ その他

・今後の課題として。

現在村上管内、介護事業所多くあり、介護職員が不足している。当事業所においても職員不足。募集をかけているが、なかなか応募がない状況。

⑨ 質疑応答

○

- ・ 11月の行事として。鮭の一括採捕を見に行くのも利用者様が喜ばれるのではないか（11月の2週目、3週目）
- ・ 事業所で集まり、問題点などを話し合う機会があってもいいのではないか。職員不足など共通問題点を行政にあげては。
→村上民営福祉会を組織している。当事業所も加入しており今後の課題

○

- ・ 空き状況について、日曜日空きが多いのはなぜか
→日曜日家族が休みで、家で見る家族が多い。
第三日曜日が休みの為、定期的に利用できないのも要因の一つ。
- ・ 色々な事業所で職員不足を耳にするがなぜなのか
→賃金の面や様々な要因があるのではないか。職員不足に関しては村上だけの問題でなくなっている

○

- ・ 車椅子の方は何人利用しているか
→8名の方が利用しています。
- ・ 研修の講師、出席者は
→主に管理者が講師をしている。毎月のミーティング時に開催している

○

- ・ 地域密着の特色を出して行くことで、営業にもつながるのではないか。
→地区の行事を取り入れたり、地域の方との交流を持っていく。
- ・ 広報誌作成し、営業の際に持って行ったり、運営推進会議での資料に使っていくと良いのでは